NO. H26-1-5 作成日 H26. 7.10

分 野	1. 土木		工種	5. 下水道											
技術の名称 矩形組立 副題(商標名等) I(アイ)ホー 次のいず た募技術条件 チェック	5 拓形組立之	ンホール		NETIS	番号	CG-990069-A									
又向りつつ		ンバール													
副題(商標名等	_{集)} _[(アイ)ホー]	L			登録(申	請)年月日	平成1	2年3月8日							
				- · ·											
		次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)													
技術の名称 副題(商標名等) 応募技術条件 チェック	牛	県内に本社のある建設													
チェック	✓	県内に本社のある建設	業者等(協会	ま、組合等を含む	む)が中心となって開発したもの										
	右番号から選択			生の向上		右番号から選	選択 -	1 工法							
		2 安全性向上	7 その作	也				2 材料							
応募技術条件 チェック 効 果 開発者 (提案者)	1.6	3 品質の向上	効果を選択し	た理由を	分類	2		3 機械							
	4,0	4 工期の短縮		寺徴に含めて		2	4	4 情報							
		5 環 境	記入してくだ				Ę	5 その他							
開発者	会社名	日本Iホール工業会	(千葉窯業	朱式会社内)											
(提案者)	住所	千葉市中央区市場町	「3−1		TEL	043 - 22	21-7	000							
	会社名	千葉窯業株式会社													
	担当部署	新製品開発課													
	氏名	湯浅 憲人													
問合せ先	住所	千葉市中央区市場町	「3−1												
	TEL	043-221-3471	FAX	AX 043-221-7061											
	URL	www.chibayogyo.co.jp													
	E-mail	yuasa@chibayogyo.co.jp													

概要 内空サイズ1200×1200~3500×1500(全10種)まで規格された矩形組立マンホールであり、従来の 現場打工法によるマンホールの構築に対して、現場作業が省力化されることにより、工期の短縮、安 全性の向上が図れる。取付管の種類は管渠だけでなくボックスカルバートも適用でき、内幅2500mm サイズまでと適用できる取付管サイズの範囲も大きい。

特徴

- ・取付管用の開口部は、工場にて加工を施したブロックの利用による対応する。
- ・ブロックの接続面には、樹脂製ガイドピンの利用により、組立作業の簡素化が図られる。
- ・水膨張性弾性シーリング材を用いた接合により、レベル2相当の地震動に対する耐震性を有する。

施工方法

基礎コンクリート上に、トラッククレーン等を用いて下部ブロックより順次組み上げる。ブロック間の接続面にはガイドピンの配置および水膨張性弾性シーリング材の塗布を施す。

施工・材料単価(従来との比較)・2000×2000、マンホール深さ4m、1基当り工事費・工期比較(土工事含む) 従来:現場打工法、直接工事費2,250千円、工期50日/Iホール:直接工事費2,550千円、工期20日 ※国土交通省土木工事積算基準および工業会歩掛(Iホール組立費)による

適用条件·範囲

- ・土被り0.11m~4.5m・シーリング材施工のため、施工時外気温5~30℃、雨天時不可
- ・最大マンホール深さ 7~11m(様式2-2参照)
- 各製品ブロックの据付クレーンの搬入が可能なこと

施工・使用後の環境への影響

工期短縮に伴う早期交通解放により、施工時の騒音・振動等の周辺住民への影響緩和、施工用重機 および周辺交通渋滞による二酸化炭素排出量の抑制

施工・使用上の留意点

開口部は、工場にて製作時加工を施す為、事前の開口位置確認および受注後納期約1カ月程度要 各製品ブロックの据付クレーンの搬入が可能なこと

実績状況(相手先、件数など)

国土交通省、各地方自治体等

納入基数 平成20年4月~平成25年3月 1394基(全国)

うち千葉県内240基

その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)

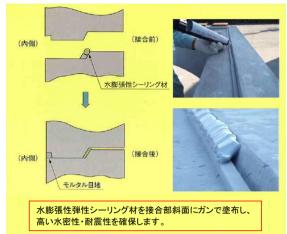
公益社団法人下水道協会 Ⅱ類資器材登録製品

実用新案 第3024197号、第3027852号

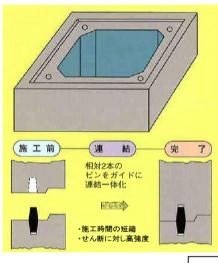
I ホール標準部材構成

() 日本 管取付ブロック 日 () 日本 () 日本

水膨張性弾性シーリング材(ガン塗布型)



ガイドピン連結



施工事例









I ホール製品規格および取付管仕様

呼び名	部材種別		部材高さ	使用最大 取付管		最大 マンホール深さ		呼び名	部材種別		部材高さ	使用最大 取付管		最大 マンホール深さ	
				BOX	HP	ВОХ	HP		AF171227		AP 131-3 C	ВОХ	HP	ВОХ	HP
1200 (B ₁) × 1200 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	600 × 600	φ 700	7. Om	9. Om	2000 (B ₁) × 2000 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	1400 × 1400	φ1350	7. Om	11. Om
	中間ブロック	直壁	600~2100						中間ブロック	直壁	600~2100				
	中間スラブ	スラブ	300						中間スラブ	スラブ	300				
	管取付ブロックH	管取付壁	600~2100						管取付ブロックH	管取付壁	600~2100				
	管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	900						管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	1200				
1500 (B ₁) × 1500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	900 × 900	φ1000	7. Om	11. Om	2500 (B ₁) × 1500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	1800 × 1800	φ1800	7. Om	11. Om
	中間ブロック	直壁	600~2100						中間ブロック	直壁	600~2100				
	中間スラブ	スラブ	300						中間スラブ	スラブ	300				
	管取付ブロックH	管取付壁	600~2100						管取付ブロックH	管取付壁	600~2100				
	管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	900						管取付ブロック L	底版一体型管取付壁	1500				
1800 (B ₁) × 1500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	1200 × 1200	φ1200	7. Om	11. Om	2500 (B ₁) × 2500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	1800 × 1800	φ1800	7. Om	11. Om
	中間ブロック	直壁	600~2100						中間ブロック	直壁	600~2100				
	中間スラブ	スラブ	300						中間スラブ	スラブ	300				
	管取付ブロックH	管取付壁	600~2100						管取付ブロックH	管取付壁	600~2100				
	管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	1200						管取付ブロック L	底版一体型管取付壁	1500				
I	頂版ブロック	スラブ	300	1200 × 1200	φ1200	7. Om	9. Om	3000 (B ₁) × 2000 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	2200 × 2200	φ 2200	7. Om	11. Om
	中間ブロック	直壁	600~2100						中間ブロック	直壁	600~2100				
	中間スラブ	スラブ	300						中間スラブ	スラブ	300				
	管取付ブロックH	管取付壁	600~2100						管取付ブロックH	管取付壁	600~2100				
	管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	1200						管取付ブロック L	底版一体型管取付壁	1500				
2000 (B ₁) × 1500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	1400 × 1400	φ 1350	7. Om	11. Om	3500 (B ₁) × 1500 (B ₂)	頂版ブロック	スラブ	300	2500 × 2500	φ 2500	7. Om	7. Om
	中間ブロック	直壁	600~2100						中間ブロック	直壁	600~2100				
	中間スラブ	スラブ	300						中間スラブ	スラブ	300				
	管取付ブロックH	管取付壁	600~2100						管取付ブロックH	管取付壁	600~2100				
	管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	1200						管取付ブロックL	底版一体型管取付壁	1900				